

一太郎のすごいところガイド

第11回 簡易作図機能について

by Kaztaro V.6

今回は簡易作図機能についてお話ししましょう。

1

簡易作図とは

文章を書いている、文字だけでなく図形なんかを入れて見栄えをよくしたいなあなんて思うときって、ありませんか？そういうときに使うのが簡易図形機能です。

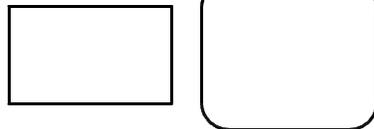
よそのメーカーからはP1. EXEとかJGとか、DOS時代から、図形機能を付加したワープロって発売されていたんだけど、一太郎はVER. 6になってようやく追加された機能なわけですな。

後発の強みというか、ハードの向上のお陰というか、簡易図形といいつつも、かなりのことが出来ます。

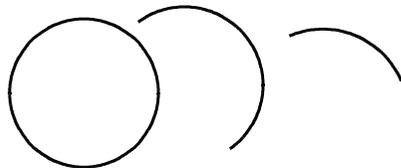
図形の種類は



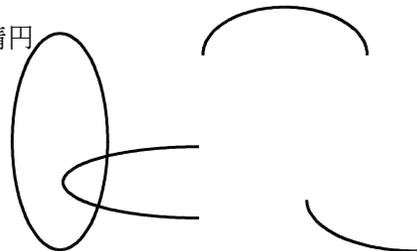
長方形



円

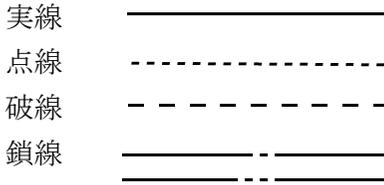


楕円

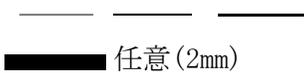


線の種類・サイズ・矢印は

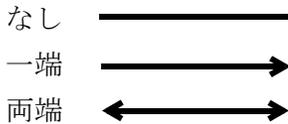
線種は、



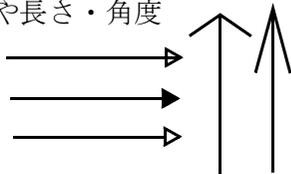
サイズは、4種類+任意サイズ



矢印は、



矢印の形や長さ・角度

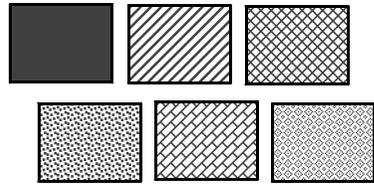


色・塗りつぶしは

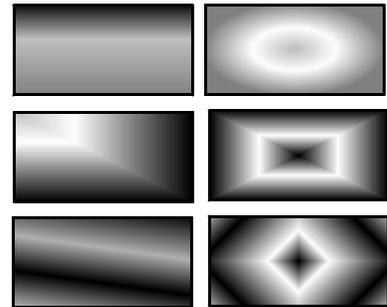
色は、Windowsソフトらしく、25色を持つ複数のパレットから選択できるようになっているようだ。

塗りつぶしは圧巻で、パターン塗りとグラデーション塗りが選択できる。特にグラデーションは2色以上の指定も可能なのがうれしい。モノクロでしかお見せできないのが残念だねえ。

パターン塗り



グラデーション塗り



色やバランスを自由に変更できるので、無限とも言える組み合わせが出来る。すごいで！

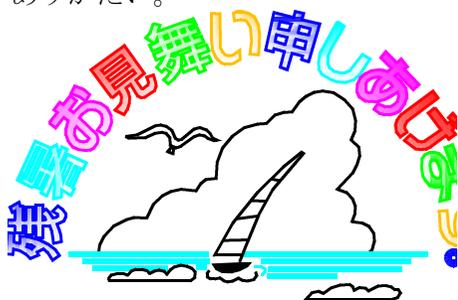
編集機能は

拡大縮小・回転やミラー変換など編集できる。しかし複雑な図形を作り出すことは難しい。

しかし一太郎の画面から直接、花子Ver3.1を起動し、図形編集できるようになっているので、凝りたい人は花子を買いなさいという誘い水かもね。

部品ファイルの読み込み

花子用に販売されている多くの図形カットが直接読み込めるのはありがたい。



WBF



文章との重ね合わせ

文字と図形の上下関係が指定できる。普通は文字が上だわな。

文字が上になる

文字が下になる

第11回 終わり



[部品ファイルの例]